

平成22年度 第15回ジャパンオープンハンドボールトーナメント 試合結果・戦評報告書

競技日	8月16日(月)	試合番号	Cソ[C(1)]	回戦	3位決定戦
種別	女子	会場	キリンビバレッジ周南総合SC(C)		

Aチーム名 / (都府県)		Bチーム名 / (都府県)		
京都クラブ		HC高山		
(京都府)		(岐阜県)		
得点合計	小計		小計	得点合計
18	11	前半	12	27
	7	後半	15	
		第1延長前半		
		第1延長後半		
		第2延長前半		
		第2延長後半		
		7mTC		

戦評
<p>女子3位決定戦は、近畿代表京都クラブ(京都府)と東海代表HC高山(岐阜県)の対戦となった。1分過ぎに、HC高山11番柴田の速攻が初得点。HC高山は、5分半ばに3-1でリードしてから後、京都クラブの粘り強いディフェンスでセット攻撃の決め手を欠き、速攻も京都クラブ1番のGK深井の好セーブに阻まれ、得点できない時間が13分間続いた。その間、京都クラブは8番小西の速攻、15番山村の切り込みなどで7連続得点。5点のリードを奪われた18分過ぎに、HC高山はタイムアウトを取る。これが功を奏して流れが変わり、HC高山が4連続得点で1点差まで詰め寄せると、京都クラブもここで、タイムアウトを取得。その後は、HC高山が11番柴田、5番小田の速攻、2番立野の切り込みなどで5得点、京都クラブは、5番上村の速攻、10番山本のポストなどで3得点し、12-11、HC高山1点リードで前半を終わった。</p> <p>後半、立ち上がりの11分間は、京都クラブに少し疲れが見られ、HC高山は、11番柴田を中心とした怒涛のような速攻で、7連続得点でリードを広げる。8点差となったところで、京都クラブはタイムアウトをとる。京都クラブは、10番山本のポスト、8番小西のサイド攻撃による連続得点で勢いを取り戻すかに見えたが、HC高山も速攻による得点で主導権を渡さず。その後、京都クラブは、11番山本の速攻などで得点するも、多彩に得点するHC高山に逆に点差を広げられ、27-18でHC高山の勝利に終わった。</p>

記載者氏名	五嶋 和恵
-------	-------

送信日時	8月 日 () :	送信者サイン	
------	------------	--------	--